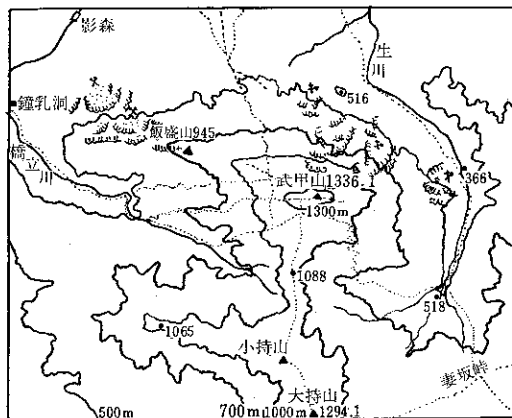


# 武甲山の蟻類

寺山 守



## はじめに

埼玉県の武甲山(標高1,336.1m)は、その大部分が秩父古生層で形成されており、現在石灰岩採掘が進められている。そのために、山膚のかかなりの部分が白くむき出しとなっている。植生は、主にヒノキ・サワラなどによる人造林と、クヌギ・コナラ・カエデなどの落葉広葉樹林であるが、山頂付近にはブナ帯が見られ、草地化した場所も見られる。

筆者は、1973年頃より機会あるたびごとに調査を行ってきており、これまでにだいたい20回程度足を運んでいるが、できうる限り武甲山の各方面から調査を加えた。方法としては、地表、地中、石下、落葉下、朽木、樹皮下などアリの生活している場所を探し、採集あるいは確認してその種名および採集地点の標高を記録した。時によっては、何ヶ所かから落葉土壌をポリエチレンの袋に入れて持ち帰り、中にいるア리를調べた。

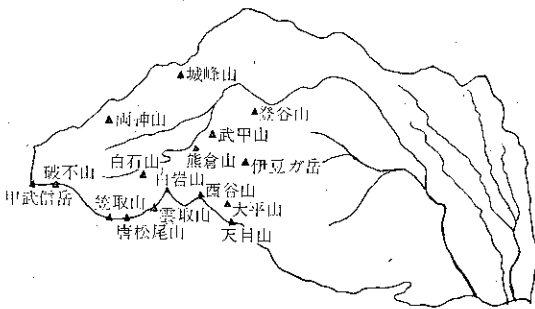
いまだ不十分な点もあるとは思いますが、だいたい一段落したように見られるので、これまでの調査記録を、ここでまとめて発表しておきたい。

## 武甲山産アリ類目録

### Subfamily Ponerinae ハリアリ亜科

Genus *Brachyponera* Emery

- 1) *Brachyponera chinensis* (Emery) オオハリアリ Bc  
Genus *Ponera* Latreille
- 2) *Ponera japonica* Wheeler ヒメハリアリ Pj  
Genus *Cryptopone* Emery



- 3) *Cryptopone sauteri* (Wheeler) メクラオオハリアリ Cs  
Subfamily Myrmicinae フタフシアリ亜科  
Genus *Crematogaster* Lund
- 1) *Crematogaster teranishii* Santschi Ct
- 2) *Crematogaster matsumurai* Forel ハリブトシリアゲアリ Cm
- 3) *Crematogaster osakensis* Forel キイロシリアゲアリ Cos  
Genus *Strumigenys* Fred. Smith
- 4) *Strumigenys lewisi* Cameron ウロコアリ Sl  
Genus *Leptothorax* Mayr
- 5) *Leptothorax congruus* Fred. Smith ムネボソアリ Lc  
Genus *Pristomyrmex* Mayr
- 6) *Pristomyrmex pungens* Mayr アミアアリ Pp  
Genus *Myrmica* Latreille
- 7) *Myrmica lobicornis* Nylander エゾクシケアリ Ml
- 8) *Myrmica ruginodis* Nylander シワクシケアリ Mr  
Genus *Aphaenogaster* Mayr
- 9) *Aphaenogaster famelica* Fred. Smith アンナガアリ Af
- 10) *Aphaenogaster japonica* Forel スミスアンナガアリ Aj  
Genus *Messor* Forel
- 11) *Messor aciculatum* (Fred. Smith) クロナガアリ Ma  
Genus *Pheidole* Westwood
- 12) *Pheidole fervida* Fred. Smith アズマオオズアカアリ Pfe  
Genus *Monomorium* Mayr
- 13) *Monomorium nipponense* Wheeler ヒメアリ Mn  
Genus *Vollenhovia* Mayr



と *Manica* 属 蟻 No. 7, 1~2

- 14) Rikio Sonobe (1974) On the Occurrence of Pseudogyne of *Formica japonica* Motschulsky (Hymenoptera, Formicidae) in Japan Kontyū, Tokyo, 42(4), 401~403  
 15) ——— (1971) Ant survey of the Mt. Daisetsu Area Ann. Rep. of Jibp-CTS for 1970, 199~210  
 16) Rikio Sonobe and Genadij M. Dlussky (1977) On Two Ant Species of the Genus *Formica* (Hymenoptera Fo-

- rmicidae) from Japan Kontyū Tokyo 45 (1); 23~25  
 17) Katsusuke Yamauchi and Kazuo Hayashida (1968) Taxonomic Studies on the Genus *Lasius* in Hokkaido, with Ethological and Ecological Notes (Formicidae, Hymenoptera). I. The Subgenus *Dendrolasius* or Jet Black Ants Jour. Facul. Sci. Hokkaido University, Series VI, Zoology. Vol. 16, No. 3, 396~412  
 (〒369-11 埼玉県大里郡川本町瀬山 562-4)

## 蝶の歌

岩山良雄

夢にラバウルに來り、ソロモン諸島  
 ニューギニアを巡り行きて  
 無名なる戦士の靈に捧ぐ  
 月落ちぬ 衣更えせん 蝶の羽  
 蝶高く消ゆ 海原わたる 秋の雲

(戦前、米国南加州の海辺にて)

みんなの 青き海辺に 海摘む  
 幾日夜の 涙は空し おゝわたつみ  
 黒雲や 鬼とならんか 世捨人  
 夕暮るゝ 街のはづれの ばらひとつ

(夢にラバウルに來る)

海ゆかば 父なる国を 探らなん  
 常夏に 春秋知らず 三十幾年  
 とこしえに 赤し蝶舞う ハイビスカス  
 山ゆかば 母なる郷を 望むらん  
 ラバウルよ 歌うは黒き はだの色

(ソロモン諸島を行きて)

空ゆかば 星月夜を 唯独り  
 散りゆきし 雲海深し 醜の民  
 父祖よさらば 南無三宝の 海の底  
 さめの海 血は消え染めし 雲の峰  
 魚群れて 輝きすぎし 竜宮に  
 渚清く 屍は白し さんご礁  
 椰子高く 鳴鳴き渡る 珊瑚海  
 修羅の海 瞳蝶見え 十字星

(ニューギニアに來りて)

蝶は舞う 骸骨朽ちし 密林に  
 峰途に 草生す蟻の あがきかな  
 藍緑に 樹林を渡る 蝶の風  
 樹々遠く 白日強く 蝶めぐる  
 草木からみて 戦車朽ちたり 蟬の声  
 緑騒ぎて 雨に流るゝ 黄泉の森  
 こがね虫 緑に狂い ぬれて飛ぶ  
 虻とならん 鼻より出づる 白き蛆  
 青空や 蜘蛛の巣ゆれる 蝶の翅

燃ゆる陽に 樹林は深く 蝶眠る  
 灼熱に 腐臭は満ちて 山焦ぐる  
 遠來の 峰途に泣く 朱の雲  
 大蛾舞いて 叫ぶは修羅か 蝙蝠か  
 闇を越えて 嗚呼絢爛の 灯を想う  
 極楽蝶 また帰りこん 冥途の国  
 めぐり来る 無縁の塚に 黄金蝶  
 霧満ちて 鐘は鳴るなり お昼時  
 女王蝶 招きたまわん 命あらば

(故國に向わんとして)

芭蕉鳴りて 月光淡く 波高し  
 天津神 疾風電雷 撃ち去りし  
 北斗の空 三十年の海 掃りなんいざ  
 みんなの 渚に拾う 螺子一つ  
 天津風 暫しとどめん 木の子雲  
 天、地、人 涙を洗う 太平洋

(戦時中、中国浙江省の村落にて)

闇の川面に 姥泣きやまん 明の星  
 妙齡の 光たゆたう 春の塔  
 桜散りし 梓の若葉に 蝶踊る

(大阪府門真市上野口町23-7)

## グリーンブックス 7

### 昆虫の採集と標本の作り方

青木 良・橋本健一著

B 6判 70頁 定価 500円 (〒 210)

## グリーンブックス 8

### 昆虫学ガイダンス

野村健一著

B 6判 120頁 定価 600円 (〒 210)